

日本海員組合 昭和七年度 大會決議

(昭和七年五月七日 於日本海員組合本部講堂)

第一號議案 船内八時間労働制の確立に關する件

主 文 説明者 言 木 敏夫

吾等は人道上並經濟上より船内一日八時間労働制の確立を期す
理由
一般陸上労働者に対する八時間労働制に關する條約案は、既に第一回國際労働總會に於いて採擇せられたが、陸上労働に比しその過激の度に於いて、その危險の度に於いて、同日の論にあらざる海上労働者に對して、未だ國際的にも將又國內的にも同制度が採擇實施せらるべきことは、實に社會的一大矛盾と言はずはならぬ。八時間労働制は一切の労働條件の基本的要素である。勞働時間制の確立を度外視して、賃銀制度の確立もなく、定員制度の確立もあり得ない。實に吾等は労働生活の基本的要として是が實現を期するものである。

實行方法

- 本決議の趣旨に基づく法規の立案反対制訂を政府に要求すること
- 右法規の制定されるまでは海事協同會の協議事項として各船内に於ける現情に照應して實際問題として是を獲得すること

第二號議案 船舶乗組定員制度(船醫を含む)の確立に關する件

主 文 説明者 平井昭雄

吾等は船内労働能率及人道上の見地より船醫を抱括する船舶乗組定員制の確立を期す

日本資本主義沒落の傾向に直面して、海上資本家群が先づその攻撃の鋒銃を向けたものは乗組員の減員であつた。さなきだに極度の減員によつて過重労働を負擔せる海上労働者は、是がため今や將に各その職場に相次いで倒れんとする状態である。かくて何等の能率増進を、由來海上労働者は、洋上にその危険極まりなき生活を局限せられるものなるにも拘らず、然も大部分の船舶に於いては尙船醫の乗船を見ざるがために不測の傷病者に對して何等適宜の措置を講ずることを得ざるは、實に重大なる社會問題といはざるを得ない。此故に吾等は、人道上並經濟上の見地より乗組定員制の確立を緊要事なりと認めるものである。

- 海事協同會に本決議を提出して、現在乗組員を暫定的乗組員最少限度として認めしめ
- 同會並關係政府當局をして、本決議に對應する定員制を確立せしむること

第三號議案 自主的労働組合法の制定及實施に關する件

主 文 説明者 田口光義

吾人は労働者の團結権、團體協約権及罷業権を確認すべき労働組合法案の即時立案とその實施を期す

理由

資本主義經濟組織の下に於いて、労働階級が支配階級に對抗する唯一の武器は團結であり、その組織力である。社會進化の上に於いて不可避の現象たる兩階級の抗争をして、テロリズムの慘禍より免れしむる唯一の途は、國家的權力により、労働者の團結を保護し、團體協約権並罷業権を保證する以外には断じて有り得ない。労働者の團結を法認する意志なき現政府が産業和平を説くは、右記せる觀點より見て近來のナシエンスである。此見地より吾等は從來政府案として發表せられたる一切の労働組合法案が、資本主義的案の範疇を一步も出でざることに於いて、是を絶対に排撃し、労働組合の原始的要請として自主的労働組合法案の即時立案とその實施を期するものである。

實行方法

- 關係政府當局にこの決議を提出し、その實現を要求し
- 各労働組合と共に共同運動を展開してその立案と實施とを要求すること

第四號議案 失業保険制度の制定及實施に關する件

主 文 説明者 鈴木 青吾

吾等は資本主義經濟組織に於いて搾取の犠牲となれる失業労働者の生活を最低限度に保護するため失業保険制度の確立を期す

理由

資本主義制度の根柢に對する深刻なる没落的動搖は、世界的恐慌の發展によつて表現せられる。この危機と不安より脱却せんがために、日本資本家群は廣汎に亘る産業合理化政策を強行し、是に因由して失業者は洪水の如く街頭に充ち溢れてゐる。内務省社會局調査による失業者四十八萬五千二百九〇名(昭和七年二月一日現在)は思ふに實數の數分の一に出でざるべく、かくて彼等は永久的乃至半永久的失業の運命に放置せられ、姑息なる各種失業事業の如きは何等の生活保護ともなり得ない。翻つて海上を見るに、同志數千名は空しく職場より離れて失業の脅威を受け、組合員の相互扶助的精神の發露によつて、投産事業に參加してゐるが、此の如きは極めて短期間的教養事業にすぎず、毫も社會生活の根本的保護をなすものではない。かくて、パンを求めて然も得ざる彼等の生活は極度に窮迫し、今や彼等は合理公正なる階級的運動に對して漸くその信を失ひ、敢然非法運動に參加せんとする傾向を示し始めてゐる。故に、吾等は緊急的に彼等の生活を保護する一方案として、政府並資本家の負擔による失業保険制度の制定を要求するものである。

實行方法

- 關係政府當局に本決議を提出し
- 各労働組合と共に大衆運動を展開してその立案と實施とを要求すること

第五號議案 普通船員居室其他の改善に關する件

主 文 説明者 飯島林次郎

吾等は船内生活を保護し労働能率を増進せしむるがために船内居室其他の改善を期す

理由